



2020年8月13日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 乾 康之
 (コード番号：9308 東証第一部)
 問 合 せ 先 コーポレートマネジメント部長
 加藤 貴子
 (TEL. 03-5548-8613)

2021年3月期連結業績予想に関するお知らせ

2020年5月14日付「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて未定としておりました2021年3月期連結業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期 純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	8,667	△1,597	△1,644	△1,693	△67.91
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期 連結累計期間)	10,768	21	△29	395	15.91

2. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	18,160	△2,007	△2,185	△2,218	△88.96
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	21,787	△884	△1,080	80	3.23

3. 業績予想の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であったため未定としておりましたが、当第1四半期連結累計期間の実績及び現時点において入手可能な情報等を踏まえ、連結業績予想を算定いたしました。

外航海運事業の業績予想における市況想定は、恣意性を取り除く意味もあり、海運先物市場に連動させております。当第1四半期のスモールハンディ船市況は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により下落しておりましたが、各国の経済活動再開の動きを受け、4月下旬に底を打ち、その後は順調に回復いたしました。一時期の混乱を脱したと認識いたしましたので、通常通りに海運先物市場に連動させ、業績予想を算定しております。市況は回復した一方で、新型コロナウイルスによる船員交代問題や渡航制限に因るドックのリモート対応等による費用増大の影響については、まだ収束の見込みには至らず、通年を通して増加を見込んでおります。

倉庫・運送事業では、国内経済活動全般が抑制されることから荷動きが鈍化することが想定されます。当社事業における一般貨物や文書保管に係る倉庫事業では、取扱い物量の減少による業績への影響は大きくありませんが、2020年4月稼働の新設倉庫の減価償却費が増加すること、連結子会社の引越業において取扱高見込みが大幅に減少することの2つの要因が、対前年減益に影響します。

不動産事業では、当社施設住戸への需要は堅調に推移しております。集客が困難となった店舗テナントには、賃料の減免機会を提供しておりますが、連結業績への影響は限定的であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上